

編集後記

入学試験の実施と卒業式の準備を控えた学園二月のテーマは、また、すぎゆく一学年の反省ということでもある。本号が「一貫教育の問題」を、再びここにとりあげたのもこのため。

一貫教育ということばが、宮井教授の所論のように「全学園のナショナルリズムを謳歌するために使われたり、それぞれの学校単位の全体に対する帰属意識を刺戟するための標語」であつてはならないし、またこの問題を学園進学とすりかえてはいけない。学園内における教科別の教育計画の吟味から出発する課題にはかならない。

毎日新聞、岩田記者のさりげない、しかも卒直な「同志社へ

の二、三の苦言」には、同志社に対する温かい忠言と、関係者の勇猛心をふるいたたされるものがある。

「ダイヤモンドの美しさを保持しながら、そのダイヤモンドは灰の中に埋もれている感がなきにしもあらずである」と。居心地のよい環境に初期の開拓精神を失うことなく、一国の教育をおこすために「同志社の気魄」をいまいずこやというチャレンヂの言葉でもある。

嶋田教授による人物誌「中島重」の貴重な一文を掲げることができた。神における共同社会を旨とした「社会的キリスト教」の中心的な思想家、中島重の存在は、同志社の思想上見逃すことのできない存在。先生がこの学園を去って三十有九年。しかし、その思想と精神はいまも

なお、学園の地下水となつて流れている。

未解放部落の伝道と教会形式のために働く東岡牧師もまた中島門下の一人というべきか。「弱者、劣った者、無力な者にこそ神の力は注がれて偉大な者とさせられる」。(I)

一貫教育に関するアンケートに、学内の十数氏から回答をいただいた。この中にはいくつかの具体的な提案が見られる。語学研究センターの設置、中高校教員の交流の問題、中学↓大学のカリキュラムの統一の問題、同志社教育の実態を把握するための教育白書の必要性など。数年前に作られた「一貫教育研究委員会」も、この際、冬眠からさめて、これらの問題に取り組んでほしいものだ。(Z)

編集委員

- 青井 厚 (順ABC)
- 青木正太郎
- 平林 一 生島 吉造
- 北川 盛一 前芝 茂人
- 松井 全 森田 泰世
- 仁井 国雄 西邸辰三郎
- 小野 則秋 榊原 胖夫
- 志賀 英雄 園部 望
- 杉田 莊作 高山 通夫
- 辻橋 三郎 山本 修

同志社時報の購読

- 申込先 京都市上京区烏丸今出川東入
- 購読料 一年分(隔月) 六百元
- 送料共 振替口座 京都 四〇〇一
- 住所氏名と校友・同窓・父兄の別を記してお申込み下さい。

同志社時報(第二十九号)

- 定価一部 百円
- 編集人 生島 吉造
- 発行人 秦 孝治郎
- 発行所 学校 同志社 法人 同志社
- 印刷人 鈴木 正三
- 印刷所 日本写真印刷株式会社
- 昭和四十三年三月十日印刷
- 昭和四十三年三月十日発行

自昭和四十二年 十月 一日  
至昭和四十二年十二月三十一日

同志社創立九十周年  
記念事業資金

寄付者芳名(第二十八回表)

金拾五億円 募金・募債額  
内 訳  
金 拾億円 募金額  
金 五億円 募債額

(寄付申込額第二十八回発表)  
合計 金七百四拾八万六千四百拾貳円  
寄付申込件数 二一五件

☆ (昭和四十二年十二月三十一日現在)  
募金に対する寄付申込額  
累計金八億貳千七百八拾五万貳千九拾七円  
寄付申込件数 一四、七八三件

☆ (昭和四十二年十二月三十一日現在)  
募債 金五億円 (昭和三十六年八月二十二日満額)

学校法人 同志社

寄付者芳名(第二十八回発表)

自 昭和四十二年十月一日  
至 昭和四十二年十二月三十一日

金壹拾万円	取締役社長 樋橋 淳 秀殿	金壹拾万円	取締役社長 谷 肇殿	金壹拾万円	取締役社長 新 瀧 平 山 為 吉殿
金壹拾万円	株式会社松菱(追加)	金壹拾万円	取締役社長 村 田 和 夫殿	金壹拾万円	静 岡 中 村 慎 太 郎 殿
金壹拾万円	取締役社長 荻野 耕 司殿	金壹拾万円	近藤織維工業株式会社	金壹拾万円	大 阪 岡 本 善 一 郎 殿
金壹拾万円	大塚製菓株式会社	金壹拾万円	取締役社長 近 藤 憲 司殿	金壹拾万円	近 藤 織 維 工 業 株 式 有 限 公 司
金壹拾万円	代表取締役 大塚 正 士殿	金壹拾万円	日本郵船株式会社	金壹拾万円	取締役社長 有 吉 義 弥殿
金壹拾万円	株式会社山本本家	金壹拾万円	取締役社長 東 京 增 井 敏 夫殿	金壹拾万円	東 京 增 井 敏 夫 殿
金壹拾万円	取締役社長 山本源兵衛殿	金壹拾万円	友田三八二殿	金壹拾万円	友 田 三 八 二 殿
金壹拾万円	株式会社谷酒造本店	金壹拾万円	友田 一 郎殿	金壹拾万円	友 田 一 郎 殿
金壹拾万円	代表取締役 谷 久 雄殿	金壹拾万円	フランスベッド株式会社殿	金壹拾万円	フ ラ ン ス ベ ッ ド 株 式 有 限 公 司
金壹拾万円	北川酒造株式会社	金壹拾万円	友田 三 郎殿	金壹拾万円	友 田 三 郎 殿
金壹拾万円	代表取締役社長 北川 仙治 郎殿	金壹拾万円	友田 一 郎殿	金壹拾万円	友 田 一 郎 殿
金壹拾万円	代表取締役社長 野田 鏝 五 郎殿	金壹拾万円	友田 一 郎殿	金壹拾万円	友 田 一 郎 殿
金壹拾万円	高木製材製函株式会社	金壹拾万円	友田 一 郎殿	金壹拾万円	友 田 一 郎 殿
金壹拾万円	代表取締役 高木 万 三殿	金壹拾万円	友田 一 郎殿	金壹拾万円	友 田 一 郎 殿
金壹拾万円	台湾(台中校友代表)	金壹拾万円	友田 一 郎殿	金壹拾万円	友 田 一 郎 殿
金壹拾万円	郭 頂 順殿	金壹拾万円	友田 一 郎殿	金壹拾万円	友 田 一 郎 殿

金壹拾万円	小西 義雄殿 島田 大典殿	金壹拾万円	愛知 神谷 俊 秋殿	金壹拾万円	香 川 大 河 内 三 郎 殿
金壹拾万円	奥山 雄三殿 山田 忠男殿	金壹拾万円	東 京 浅 見 重 信殿	金壹拾万円	同 志 社 亀 井 寿 美 子 殿
金壹拾万円	三瀬 安彦殿 新房 之助殿	金壹拾万円	長 野 田 中 千 利殿	金壹拾万円	同 志 社 坂 口 一 彦殿
金壹拾万円	渡辺 公嗣殿 長田 利喜殿	金壹拾万円	同 志 社 森 信 輝殿	金壹拾万円	同 志 社 住 谷 馨殿
金壹拾万円	有賀政之進殿 中村 治殿	金壹拾万円	三 重 昭 田 貞 利殿	金壹拾万円	同 志 社 塩 尻 恭 子 殿
金壹拾万円	磯部 安男殿 上田 庸三殿	金壹拾万円	同 志 社 岡 田 篤 雄殿	金壹拾万円	石 川 竹 本 辰 英殿
金壹拾万円	坂野 俊夫殿 福富 幸男殿	金壹拾万円	愛 知 鈴 木 佐 一殿	金壹拾万円	熊 本 日 新 辰 雄殿
金壹拾万円	四柳 栄三殿	金壹拾万円	東 京 光 法 堯 義殿	金壹拾万円	京 都 大 槻 辰 雄殿
金壹拾万円	株式会社正文堂	金壹拾万円	福 岡 緒 方 結殿	金壹拾万円	京 都 大 槻 辰 雄殿
金壹拾万円	代表取締役 佐 藤 完殿	金壹拾万円	三 重 山 本 準 一殿	金壹拾万円	京 都 大 槻 辰 雄殿
金壹拾万円	京都 山 田 邦 彦殿	金壹拾万円	新 潟 山 本 沢 富 藏殿	金壹拾万円	京 都 大 槻 辰 雄殿
金壹拾万円	真美印刷株式会社	金壹拾万円	京 都 山 口 久 弥殿	金壹拾万円	京 都 大 槻 辰 雄殿
金壹拾万円	代表取締役 中村 宅 彦殿	金壹拾万円	京 都 山 本 正 子殿	金壹拾万円	京 都 大 槻 辰 雄殿
金壹拾万円	京 都 藤 岡 義 文殿	金壹拾万円	京 都 岡 本 善 八殿	金壹拾万円	京 都 大 槻 辰 雄殿
金壹拾万円	帝国ビストリング株式会社	金壹拾万円	同 志 社 西 村 讓 治殿	金壹拾万円	京 都 大 槻 辰 雄殿
金壹拾万円	取締役社長 三 上 寿 一殿	金壹拾万円	同 志 社 新 田 義 治殿	金壹拾万円	京 都 大 槻 辰 雄殿
金壹拾万円	廣 島 一 郷 照 枝殿	金壹拾万円	日 本 放 送 協 会 国 際 局 吹 米 部 殿	金壹拾万円	京 都 大 槻 辰 雄殿
金壹拾万円	大 阪 山 科 新 吾殿	金壹拾万円	岡 山 西 山 滿殿	金壹拾万円	京 都 大 槻 辰 雄殿
金壹拾万円	福 岡 龜 田 浩殿	金壹拾万円	兵 庫 森 本 行 雄殿	金壹拾万円	京 都 大 槻 辰 雄殿
金壹拾万円	滋 賀 平 柿 繁 治殿	金壹拾万円	京 都 田 端 秀 三殿	金壹拾万円	京 都 大 槻 辰 雄殿
金壹拾万円	茨 城 大 森 武 雄殿	金壹拾万円	山 口 木 村 一 夫殿	金壹拾万円	京 都 大 槻 辰 雄殿
金壹拾万円	愛 知 加 藤 賢 二殿	金壹拾万円	同 志 社 藤 代 泰 三殿	金壹拾万円	京 都 大 槻 辰 雄殿
金壹拾万円	兵 庫 伊 佐 美 道 夫殿	金壹拾万円	同 志 社 藤 代 泰 三殿	金壹拾万円	京 都 大 槻 辰 雄殿





将来の生活設計に  
住友の青い鳥 しあわせの保険を



## 住友生命保険相互会社

大阪市北区中之島2-16  
(京都支社 京都市下京区四条河原町角)



## 住友海上火災



保険の相談  
電話でOK!

東京 (272) 2056  
大阪 (203) 0982  
京都 (211) 0606

万全のサービス網  
ご信頼に込めて80年



## 日本生命保険相互会社 京都支社

京都市下京区四条通東洞院角  
TEL (241) 1111(代表)



## 興亜火災海上保険 京都支店

下京区烏丸通綾小路下ル  
TEL(代)(361) 2101  
分室 下京区四條通堺町東入  
山一証券ビル三階  
TEL(211) 5008・3985



あらゆる保険を扱う

## 同志社代理店

同志社収益事業課  
TEL 211-2311 (内線) 231・234

好評裡に実施中



IBMによる家計診断  
ライフパイロットで生活設計

## 三井生命京都支社

支社 烏丸通松原下ル  
Tel (361) 4331代(第三)

資料御請求下さい。

(見積金額 金参万円)

京都 松山 致芳殿  
計 金七百四拾八万六千四百参拾貳円  
二一五件

この発表は昭和四十二年十二月三十一日までにお申込みいただいた分で、その後のものは、今後の本誌に発表いたします。

### おわび

寄付者芳名第二十七回発表中、左記の通り誤りがありましたので、謹んで訂正いたします。

七十頁上段「金壹拾万円 同志社 岸倉具実殿」を「金壹拾万円 同志社 岩倉具実殿」に訂正。

### 寄付金募集要項

一、寄付金募集金額 金拾億円

二、寄付金の種類

1、法人(会社、銀行等)にお願いするもの

○ 金十万円以上をお願いいたします。

○ 法人の寄付金については昭和四十二年十二月十八日までを期限として法人特別

枠寄付金による法人税の一部免税承認を受けています。

○ 一時払又は分割払でお願いします。

2、個人(卒業生、父兄、一般篤志家)にお願いするもの

○ 一口金額を金五千円、金壹万円、金参万円、金五万円、金拾万円、金参拾万円、金五拾万円、金百万円の八種といたします。但し、口数は端数になっても結構です。

○ 個人の寄付金についても昭和四十二年十二月十八日までを期限として所得税の一部免税承認を受けています。

○ 一時払または分割払でお願いします。

三、寄付金払込方法

### イ、銀行利用

主要銀行の本支店で「同志社記念事業口座」へお払込み下さい。

### ロ、郵便局利用

1、京都市上京区今出川通烏丸東入、同志社記念事業事務局、振替口座京都五二四三番へお振込み下さい。

2、現金書留、為替送金(書留)で送金願います。

### ハ、直接ご持参

同志社本部 記念事業事務局へ直接ご持参願います。

寄付金の本領収証は同志社記念事業事務局からご送付いたします。

この募金についてのご照会は左記にてお願いいたします。

### 同志社記念事業事務局

京都市上京区今出川通烏丸東入 同志社内  
電話京都部二三一一番(大代表)  
振替口座京都 五二四三番